

# 研究者、科学・芸術語り合う 左京で22日

人文社会科学から自然科学まで、約84万人

は、12月22日午後1時から、京都市左京区の府立京都学・歴史の研究者を代表する組織の日本学術会議(会館などでシンポジウムを開く。事前申し込み

制。無料。テーマは「伝統文化と科学・学術の新たな出会い」。市民や地域のリーダー、次世代を

担う人たちと研究者らが、科学と芸術について語り合うのが狙い。山極総長と、映像を駆使したアーティストで京大教授の土佐尚子さんが「伝統芸術と科学」と題して対談する。

京大の中津良平教授による講演「アジア化する世界」、華道家元池坊次期家元・池坊専好さんと科学技術振興機構・渡辺美代子副理事の対談なども。分科会は府立大に会場を移

して科学と市民、伝統文化、先端産業、若手研究者のそれぞれとの関係を議論する。午後5(705)2953。